

宝珠院だより

令和7年
1月1日号

金精山寶珠院
南魚沼市余川
1777
025-773-6064



宝珠院本尊 阿弥陀如来様の真言 お仏壇で唱えましょう

おん あみりた ていせいからうん

住職交代のお知らせ

檀信徒の皆様には、益々ご清祥のことと拝察申し上げます。拙寺にありましては、変わりなく過し居り、新年を無魔迎えることができ、一重に檀信徒各位のご助力と深謝申し上げます。

さて、表題にございます様に、昨年九月二十五日をもちまして、宝珠院の住職を大塚賢秀から大塚厚樹に交代いたしました。

檀家総代の皆様と画り、本山・教区の承認を得て手続きを執り、辞令交付を受けて登記も無事完了いたしました。

賢秀坊は、君帰観音寺の住職として住職資格はそのままですが、宝珠院と西泉田の養智院は厚樹坊が引き継ぎます。

近隣の各寺院それぞれ後継と交代して若返りしております。拙寺も厚樹坊が入寺して

十五年経過し、丁度良い時期かと思えます。前々住宗仁和尚、前任賢秀坊に増して、よろしくお願い申し上げます。

なお、晋山式等、住職交代の儀式は、総代・世話人・出入りの檀家様方と相談し、一、二年の間に良い時節を考慮し計画したいと思えます。二十五年ぶりの大行事となりますので、檀信徒の皆様それぞれお心づもりいただけますと幸いです。

住職就任のご挨拶

この度、余川宝珠院住職、並びに西泉田養智院の兼任住職を拝命いたしました大塚厚樹です。千葉から京都を経て新潟の地に参りまして十五年。寺に慣れること、地域に慣れること、雪に慣れることに大分時間を要しました。

その間、檀信徒の皆様、地域の皆様には温かく見守っていただき、お力添えをいただいた事に、まずは深く感謝を申し上げます。

十五年前にこの地に参ったときは、時代が変わり、地域環境も変化しております。お寺を取り巻く環境も同様です。縁が薄まり、人と人の距離がどんどん遠くなっております。その様な中でも、私たちは、気づかないうちに誰かの助けを借りて生きています。と同時に必ず誰かの助けにもなっているのです。縁、繋がりやどうやって保っていくかは、これからの大きな課題であると考えております。

「おかげさま」は、京都の修行時代から大切にしている言葉です。皆様の穏やかな日常を願い、しっかりと務めてまいります。よろしく願いいたします。